

令和5年度事業報告

概 要

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が「5類」に引き下げられたことなどから、社会経済活動が正常化に向かって動き出しました。しかしながら、6月から8月にかけての記録的猛暑や急激な円安の影響による物価高騰など経済情勢は依然と厳しい状況におかれています。

このような状況下、令和5年度の請負・委任の事業実績は、令和4年度と比較すると、事業収益こそ2億93,542千円とほぼ前年並みとなったものの、就業延べ人員が3,495人減の75,234人日、就業率は2.4ポイント減の88.9%となっています。事業別では、公共事業のみ増加、その他の事業については、件数、収入とも減少となりました。

派遣事業においては、新規就業の開拓等により、前年度より約2,249千円増の約15,437千円となり、目標としていた12,000千円に対しては、約28.9%増となっています。今後も経済状況等を見極めながら請負事業や派遣事業の拡大に取り組んでいきます。

最重点課題としていた会員拡大については、派遣先と連携したファッションショーの開催やホームページ、SNSでの情報発信、ハローワークとの連携、全戸配布のフリーペーパー広告での募集、会員の声掛け運動等に取り組み、5年ぶりの会員増加に繋がりました。

また、女性会員の拡大や活躍推進を目的とした、シルボンヌ全国大会が福岡で開催され会員、職員が参加しました。今後も、会員拡大に取り組むとともに、就業拡充の強化を図っていきます。

賠償事故は、4件で前年と同数、傷害事故は、9件でそのうち転倒事故が6件となっています。転倒事故は、大事故につながる恐れがあるため十分注意する必要性があり、令和6年3月に5年ぶりに開催した安全就業促進大会では、安全対策に向けた取り組みを再確認し、周知徹底を図りました。今後も事故ゼロを達成するために、さらなる取組の強化をしなければなりません。

事業実績

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援（公益目的事業）

1 就業開拓提供等事業

1 事業実績（受託＋独自＋総合事業）

	令和5年度実績	前年度比	計 画
			達成率
会 員 数	557人	28人増	600人
			92.8%
就業実人員	495人	12人増	536人
			92.4%
就業延人員	75,234人日	3,495人減	77,900人日
			96.6%
就 業 率	88.9%	2.4ポイント減	90%
			98.8%
事業収入	293,542千円	1,167千円減	307,985千円
			95.3%

(1) 受託事業（一般）

高齢者の就業機会を確保し、高齢者の希望や能力に応じて、グループ就業やローテーション就業などを行い、高齢者に臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会の提供を行いました。

令和5年度	就業実人員	就業延人員	契約金額
計 画	500人	75,000人日	300,000千円
実 績	451人	75,725人日	287,548千円

(主な就業分野)

- 事務（文書作成、受付事務、賞状・宛名書き等の筆耕等）
- 技能（剪定、大工、襖・障子・網戸張替え、刃物砥ぎ等）
- 管理（小・中学校、地区公民館、駐輪場、イベント会場での駐車場整理等）
- 配布（市広報誌、チラシ・フリーペーパー配布等）
- 屋外・屋内作業（屋外・屋内清掃、除草、植木消毒、家財搬出、農作業等）
- 福祉・家事援助サービス（家事手伝い、育児支援等）

(2) 独自事業

地域のニーズに対応するために、独自の創意と工夫により次の事業を実施しました。

○ リサイクル事業

市民から提供された衣類、家具、家電製品等の再生・販売、また、学校給食や一般家庭の廃油を原料とした石けんの製造・販売を行いました。

この事業により、ごみの減量化と資源の有効活用など市民の3R活動を推進しました。

○ 宮原坑ショップ事業

世界遺産宮原坑で、来場者へ地元特産品及び会員手作り品等を販売しました。

○ 生きいきシルバー農園事業

耕作放棄地対策として、休耕地を活用した農産物の生産及び有料市民農園事業を行いました。

令和5年度	就業実人員	就業延人員	契約金額
計 画	30人	2,500人日	7,000千円
実 績	29人	2,552人日	5,871千円

(3) 介護予防・日常生活支援総合事業

令和2年度より、市の介護予防・日常生活支援総合事業の指定事業所として、掃除、買い物等の生活支援サポートを行う基準緩和型訪問サービスを始めました。

令和5年度	就業実人員	就業延人員	契約金額
計 画	6人	400人日	985千円
実 績	3人	236人日	392千円

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

1 職業紹介事業

地域の高齢者に、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲における就業を紹介するとともに、地域事業者の求人等の情報収集及び提供を行いました。

2 労働者派遣事業

地域における人手不足と高齢者が求める就業形態の多様化に応えるため、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲において、労働者派遣事業を実施しました。

令和5年度	就業延人員	契約金額
計 画	4,000人日	12,000千円
実 績	4,433人日	15,437千円

（主な就業分野）

高齢者施設等の配膳業務、送迎業務、食品包装業務、商品整理等

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等（公益目的事業）

1 普及啓発事業

(1) 広報活動

- ① 月2回の入会説明会を開催し、高齢者の生きがい就労や社会参加活動を紹介するとともに、全戸配布の無料情報誌に、センター事業の紹介や会員募集の広告を掲載しました。また、ハローワークの就職支援セミナーでセンターの紹介を行いました。
- ② 毎月10日の十日市やおおむた道の駅「花ぷらす館」へのリサイクル品や会員手作り品の出品、11月の「100円玉笑店街」等への参加等で、市民へのセンター事業の普及啓発を行いました。

③ 10月の普及啓発促進月間に、市及び市議会への支援要請行動を行うとともに、地元新聞社へセンター事業の情報提供やホームページにリアルタイムの求人情報等を掲載し、情報発信を行いました。

④ 女性会員の拡大や活躍推進を図ることを目的とした、全シ協主催のシルボンヌ全国大会が福岡で開催され、会員5人、職員3名が参加し、大会を盛り上げました。また、県シ連による女性会員拡大に関する会議に当シルバーから委員として参加をしました。大牟田市エコサルクセンター環境教室で年6回の布ぞうり教室、年1回のちりめんリース作り、ジュートバッグアレンジ1回を実施しました。

(2) 社会参加・ボランティア活動

- ① 夏祭り清掃奉仕活動 7月24日(月) 会員及び職員 24人参加
- ② 市役所剪定奉仕活動 10月7日(土) 会員及び職員 47人参加
- ③ 高齢者生きがい創造センター剪定・除草奉仕活動
10月14日(土) 会員及び職員 89人参加

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業の推進

令和5年度は、「安全は全てに優先する」を基本とし、5年ぶりとなる「安全就業促進大会」を開催しました。また、連合会安全就業促進大会への参加、安全・適正就業委員会の開催、安全パトロールの実施等を行いました。

11月には、当センターにおいて、県シ連の安全パトロールが実施されました。また、安全パトロールを計13回(剪定作業現場14ヶ所、除草作業現場15ヶ所)実施をしました。また、職群別定例会では事故事例についての周知分析を行うとともに、夏場の熱中症予防などの注意喚起を行いました。

今年度の事故発生状況は、傷害事故が9件、賠償事故が4件発生しました。傷害事故では、転倒による事故が6件のほか、切り傷等の事故が発生しました。賠償事故は、昨年度と同数で、刈払機による石飛事故が1件等となっています。

事故の原因を分析し、再発防止を図ることが必要です。事故の内容は以下のとおりです。

【傷害事故】 9件 (前年比+3件)

日時	性別	年齢	事故	職種	発生状況・原因・対策
7/21 9:00	女	80	就業中	屋内 清掃	ホールの清掃作業後に階段を降りる際、残り2段目を踏み外し、転倒した。
			(転倒) 49日通院		(事故原因) 足元の安全確認が不十分だった。

					<p>(再発防止策)</p> <p>年齢による身体機能の低下があることをよく認識し、足元の安全確認には十分注意する。階段等での転倒は大怪我に繋がる恐れがあるため、特に注意する。</p>
7/25 7:20	男	68	<p>就業中</p> <p>(切り傷)</p> <p>6日通院</p>	<p>植木 剪定</p>	<p>作業前に準備をしていたところ、誤ってハサミの刃先に強く触れてしまい、指を負傷した。</p> <p>(事故原因)</p> <p>他の物を掴む際に、手に持っていたハサミの刃も一緒に握ってしまい、負傷した。 慣れと油断により、刃物の取扱いについて、安全確認が不十分であった。</p> <p>(再発防止策)</p> <p>刃物を取り扱う職群は、刃物の危険性について改めて注意する。</p>
8/4 13:00	男	75	<p>就業中</p> <p>(腱の損傷)</p> <p>43日通院</p>	<p>清美 班</p>	<p>軽ダンプの荷台に除草の切りくずをフォークで積み込んでいた際、肩の腱を痛めた。</p> <p>(事故原因)</p> <p>フォークで草を持ち上げる際に、無理をしてしまった。</p> <p>(再発防止策)</p> <p>年齢による身体機能の低下があることをよく認識し、体を動かす際は無理をしない。準備運動をしっかりする。</p>
9/5 16:05	女	83	<p>就業途上</p> <p>(転倒)</p> <p>42日通院</p>	<p>リサイ クル</p>	<p>バイクに乗り、センターから帰宅しようと駐輪場を出た際、強風にあおられ転倒し、右足がバイクの下敷きになった。</p> <p>(事故原因)</p> <p>当日の天候(風の強さ)等の安全確認が不十分であった。</p>

					(再発防止策) 自転車やバイクで転倒すると大怪我に繋がる恐れがあることを十分に周知し、安全運転に努める。
9/7 15:30	女	79	就業途上 (転倒) 4日通院	リサイ クル	センターでの就業を終え、帰宅しようと駐車場へ向かう際、縁石に躓き、転倒した。 (事故原因) 足元の安全確認が不十分であった。 (再発防止策) 就業中・就業途上を問わず、足元の安全確認は常に行う。
11/16 10:20 頃	男	75	就業中 (転倒) 54日通院	清美 班	空地の除草後に、草ゴミを軽ダンプに積込んでいた際、地面から出ていた10cm程度の切り株に躓き、U時溝の中に足がはまり込んで足首を捻った。 (事故原因) 足元の安全確認が不十分であった。 (再発防止策) 転倒事故は大怪我に繋がる恐れがあることを十分に認識し、足元の安全確認を怠らない。
11/18 10:30	男	62	就業中 (切り傷) 9日通院	植木 剪定	生垣をバリカンで剪定作業中、スイッチを切ろうとした際に左手が刃に触れた。 (事故原因) 電動の刃物を使用していたにも関わらず、不注意により刃に触れてしまった。 (再発防止策) 刃物を使用した作業では特に安全に配慮し、適切な取扱いを行う。刃物の危険性や取扱いについて改めて確認する。
2/7 7:30	女	80	就業中	屋内 清掃	屋内で玄関マットの清掃作業中に躓き、転倒。右手が体の下敷きになり骨折した。

			(転倒) 70日通院		(事故原因) マット清掃をする際、本来は2人作業で行うところ、1人で作業したことため。
					(再発防止策) 就業の手順を遵守することを徹底し、作業効率ではなく安全を第一に作業する。
3/1 13:00	男	62	就業途上 (転倒) 通院中	広報 配布	自分の配布区域へ向かうためにバイクで移動中、交差点でバランスを崩し、転倒した。
					(事故原因) 広報誌を積んでいる状態の運転で、不注意があった。
					(再発防止策) 自転車・バイクで広報誌等を積んでの運転は、バランスを崩す可能性があるため、特に注意して運転する。

【賠償事故】 4件 (前年比±0件)

日時	性別	年齢	事故	職種	発生状況・原因・対策
R4.8/28 11:00	男	83	就業中 木枝切断	除草	個人宅の除草作業中、会員が「伸びすぎている」と判断した植木の枝を切断した。 発注者は目隠しとしてちょうど良いと思っており、無断で切断したことに対し、弁償を求められた。 作業実施は令和4年度だが、令和5年4月6日に発注者より連絡があったため、遡って保険で対応を行った。
					(事故原因) 会員の判断により、発注者の了承を得ず、枝を切断した。
					(再発防止策) 原則として、依頼された範囲以外は作業しない。依頼範囲外の作業をする場合は、必ず発注者の了承を得てから作業する。

6/16 14:50	男	71	就業中 瓦破損	剪定	境内の植木剪定作業中、灯籠の宝珠(灯籠に乗っている傘のようなもの)を塀の下に落としてしまい、山門の瓦を破損させた。
					(事故原因) 剪定をするために腕を伸ばして作業した際、宝珠が接着などがされていないことを知らず、宝珠に体重をかける形で作業してしまった。
					(再発防止策) 作業をする際、敷地内にある灯籠やブロック塀等に体を預けないようにする。
10/6 12:00	男	76	就業中 木枝切断	除草	除草作業中、作業現場の隣の土地から道路にはみ出ている枝を切ったところ、土地の持ち主に弁償を求められた。
					(事故原因) 会員は通行人の迷惑になると感じて、良かれと思って枝を切ったが、持ち主に確認せず切ったため、苦情となった。
					(再発防止策) 依頼範囲以外は作業しないことを徹底する。どうしても気になる部分があれば、必ず持ち主に話を通し、了承を得る。
10/29 8:30	男	75	就業中 車両 窓ガラス 破損	除草	工場内で草刈機を使用した作業中、石を飛ばし、車両の窓ガラスを破損させた。
					(事故原因) 事前に車両の移動を依頼していたため、工場内にはほとんど車両がない状態だったが、2台だけ作業箇所近くに駐車されていた。そのため、石飛防護ネットを2枚使用して対策を行っていたが、気が付いたらガラスが割れていた。予期しない方向から石が飛んだと思われる。

				<p>(再発防止策)</p> <p>防護ネットを使用しても安心せず、細心の注意を払いながら作業をする。予期しない角度から石が飛ぶことも考え、万全の対策を行うことを職群会議にて再度指導する。</p>
--	--	--	--	--

3 相談事業

(1) 就業相談の実施

就業を希望する地域の高齢者に、毎月2回の入会説明会及び毎月1回の会員登録説明会を行うとともに随時の就業相談に対応しました。

4 研修・講習事業

① 安心・安全講習

新型コロナウイルス感染拡大予防のために、職群定例会において感染症対策の周知を行うとともに、感染症対策ポスター掲示を行いました。

② 接遇講習

利用者の信頼と満足を得るために、会員へのクレームに対する注意及び接遇の指導を行いました。

③ 剪定講習

新入会員を対象に、服装、道具、安全対策等についての座学研修を実施しました。(開催6回、研修会員9人)

④ 除草講習

新入会員を対象に、服装、道具、安全対策等について、座学及び実技講習を実施しました。(開催13回、研修会員15人)

⑤ 県シ連脚立の使い方・安全就業推進委員研修会

県シ連主催の県シ連脚立の使い方・安全就業推進委員研修会は、2月14日(水)開催され、職員2名が参加しました。

⑥ 職員研修会

○県シ連契約見直しに係る説明会が1月9日(火)に開催され、職員2名が参加しました。

○筑後ブロック業務担当職員研修会が、3月12日(火)に開催され、職員2人が参加し、他センターとの意見交換を行いました。

○筑後ブロック会計担当職員研修会が、2月29日(木)に当センターで開催され、職員2人が参加し、他センターとの意見交換を行いました。

⑦ 役員研修会

○県シ連定時総会・役員研修会に2名参加しました。

○県シ連理事長研修が11月2日(水)に開催され理事長が参加しました。

○県シ連監事研修会が12月12日に開催され監事2名が参加しました。

5 調査研究事業

公益社団法人として会員増対策と経営の安定化を進めるために、福岡県シルバー人材センター連合会からの情報収集及び筑後ブロックでの情報交換を行いました。